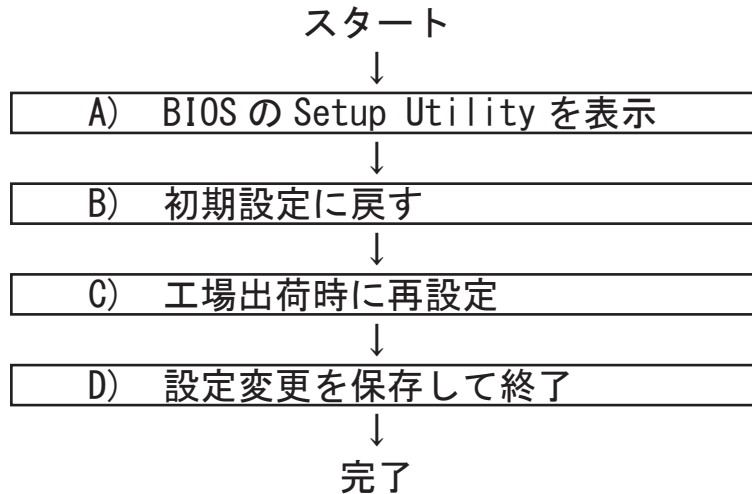


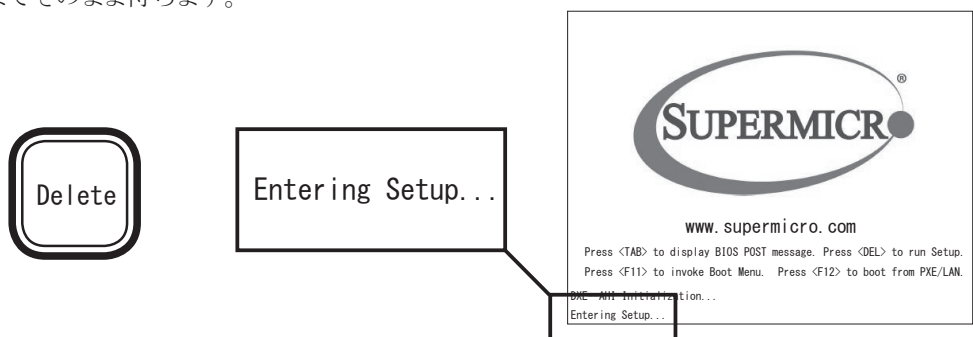
BIOS 出荷時設定

本製品の BIOS 設定は、出荷時に本紙の通り設定しています。BIOS 設定が必要な場合は、本製品の電源投入直後にキーボードの [Delete] キーを押してください。OS を再インストールする場合は（リカバリーを含む）、本書の通り設定してから行ってください。



A) BIOS の Setup Utility を表示します。

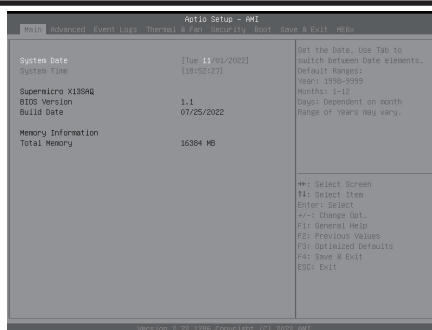
電源投入直後、または再起動直後に [Delete] キーを押します。[Delete] キーにより、画面左下に「Entering Setup...」と表示されます。BIOS 設定画面（Aptio Setup Utility）が表示されるまでそのまま待ちます。



ご注意

押すタイミングによっては Setup Utility が表示されない場合があります。その場合はいったん本製品をリセットして Setup Utility の表示を試みてください。OS が起動した場合は OS の再起動をし、Setup Utility 表示を試みてください。

BIOS 設定のメイン画面（「Main」タブ）が表示されます。以降いくつかの項目を設定します。キーボードを使い設定します。



ご注意

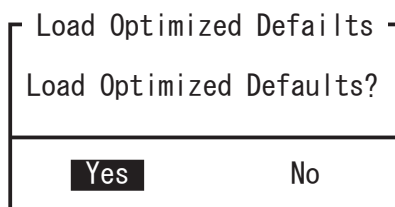
BIOS 設定画面を表示しても、キー入力を受け付けられない場合があります。これは USB キーボードのキー入力回数が多過ぎたためです。しばらく待つか、USB キーボードを挿し直してください。

B) BIOS 設定を初期設定に戻します。

BIOS 設定画面が表示されましたら [→] キーで「Save & Exit」タブに移動します。

次に [↓] キーで「Load Optimized Defaults」を選択し、[Enter] キーを押します。

「Load Optimized Defaults?」と表示されますので「Yes」を選択後 [Enter] キーを押します。BIOS 設定が初期設定に戻ります。初期設定後、手動による設定が必要です。



C) 工場出荷時に再設定します。

各項目を手動設定します。本書は手動設定が必要な項目のみを記載しています。

本文中 ▶ 印の部分は [Enter] キーを押すことにより、詳細項目が表示されることを表しています。また反転文字が設定項目です。

【操作方法】

- ・ [←] [→] [↑] [↓] キーで項目移動。
- ・ 日付や時間設定は、[Tab] キーで年月日や時分秒の各項を移動。
数字キーで直接入力も可能。[+] [-] キーで増減変更。
- ・ 設定変更項目へ移動後、[Enter] キーを押すと選択メニューが表示。
[↑] [↓] キーで選択後 [Enter] キーで確定。
- ・ [Esc] キーを押すと一つ前の選択メニューが表示。
大項目で [Esc] キーを押すと、セーブメッセージを表示。

【Main】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit	MEBx
System Date							【 本日の日付 】
System Time							【 現在の時刻 】
Supermicro X13SAQ							
BIOS Version			X.X				※ 1
Build Date			MM/DD/YYYY				
Memory Information							
Total Memory			XXXX MB				※ 2

※ 1: BIOS のバージョンにより表記が異なる場合があります。

※ 2: カスタム仕様により、Total Memory 値が異なります。



ご注意

カスタム仕様により、以降のページにおいて表示されない項目があったり、記載のない項目が追加表示される場合があります。

【Advanced > Boot Features】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit	MEBx
Fast Boot					[Disabled]		
Quiet Boot					[Enabled]		
Option ROM Messages					[Force BIOS]		
Bootup NumLock State					[On]		
Wait For "F1" If Error					[Enabled]		
Re-try Boot					[Disabled]		
Power Configuration							
Watch Dog Function					[Disabled]		
AC Loss Policy Depend On					[Last State]		※ 3
Power Button Function					[Instant Off]		
DeepSx Power Policies					[Disabled]		

※ 3: 電源投入方法の設定

- [Stay Off] 前面の電源スイッチで電源投入します。
- [Power On] 背面の電源スイッチ、あるいは背面の電源スイッチがオンの状態で AC ブレーカなどで電源投入することができます。
- [Last State] Stay Off と Power On のどちらの状態も有しており、電源切断方法に応じて、次回の電源投入方法が決まります。



ご注意

電源投入方法の設定を変更しても即座に反映されません。設定変更後は必ず、正しいシャットダウンを行ってください。以降、変更した電源投入方法が機能します。

【Advanced > CPU Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit	MEBx
CPU Configuration							
12th Gen Intel(R) Core(TM) i7-12700							
.							
.							
.							
} ※ 4							
Active Performance-cores							[All]
Active Efficient-cores							[All]
Hyper-Threading							[Enabled]
AES							[Enabled]
Boot Performance Mode							[Max Non-Turbo Performance]
Intel(R) SpeedStep(tm)							[Enabled]
Intel(R) Speed Shift Technology							[Enabled]
Turbo Mode							[Enabled]
Power Limit 1 Override							[Disabled]
Power Limit 2 Override							[Enabled]
Power Limit 2							0
C-States							[Disabled]
MonitorMWait							[Enabled]

※ 4: カスタム仕様により表示が異なります。



ご注意

・CPU機能の制限により、表示されない項目があったり、ここに記載のない項目が追加表示される場合があります。

・インテル第12世代プロセッサファミリーでは、Performance CoreとEfficient Coreを持つCPUがあります。Efficient Coreの存在により一部のアプリケーションにおいては正しく動作しない場合があります。その場合は、「Active Efficient-cores」を[0]に設定することで問題を回避できる場合があります。

【Advanced > Chipset Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit	MEBx
WARNING: Setting wrong values below sections may cause system to malfunction.							
▶ System Agent (SA) Configuration							
System Agent (SA) Configuration							
VT-d		Supported					
▶ Memory Configuration							
▶ Graphics Configuration							
▶ DMI/OPI Configuration							
▶ PEG Port Configuration ※ 5							
▶ GT - Power Management Control							
VT-d		[Enabled]					
GNA Device (B0:D8:F0)		[Disabled]					
▶ PCH-I/O Configuration							
PCH-I/O Configuration							
PCH SKU		Q670E					
Stepping		xx					
▶ PCI Express Configuration ※ 6							
Frontside Audio Mode		[HD Audio]					

※ 5: PCI Express 5.0 x16 及び M.2 M-Key PCI Express 4.0 x4 スロットの設定

※ 6: PCI Express 4.0 x4 / 3.0 x4 / 3.0 x2 スロットの設定

PCI Express スロットへ接続した拡張ボードとの、整合性や調整を行うことができる主な項目です。拡張ボードが動作異常を繰り返すようでしたら、拡張

ボードに合わせて設定ください。例えば「Max Link Speed」項や「PCIe Speed」項は、拡張ボードに合わせた1レーン当たりの最大転送レートを設定する項目です。

[Auto] 以下の転送レートから自動設定します。

[Gen4] 16.0GT/s を上限に設定します。

[Gen3] 8.0GT/s を上限に設定します。

[Gen2] 5.0GT/s を上限に設定します。

[Gen1] 2.5GT/s を上限に設定します。

【Advanced > PCIe/PCI/PnP Configuration】メニューにも整合性や調整を行う項目があります。

【Advanced > SATA And RST Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit	MEBx
SATA Controller(s)							[Enabled]
Storage Option ROM/UEFI Driver							[EFI]
Aggressive LPM Support							[Enabled]
SATA0							HDD/SSD Model Name (XXXX.XGB)
Software Preserve							SUPPORTED
Hot Plug							[Enabled]
Spin Up Device							[Disabled]
SATA Device Type							[Hard Disk Drive] ※ 7
SATA1							DVD Model Name
Software Preserve							N/A
Hot Plug							[Enabled]
Spin Up Device							[Disabled]
SATA Device Type							[Hard Disk Drive]
.							.
.							.
.							.
SATA7							Empty ※ 8
Software Preserve							Unkown
Hot Plug							[Enabled]
Spin Up Device							[Disabled]
SATA Device Type							[Hard Disk Drive]

※ 7: SSDをお使いの場合は [Solid State Drive] に設定します。以降 SATA5 まで、カスタム仕様に合わせて設定します。

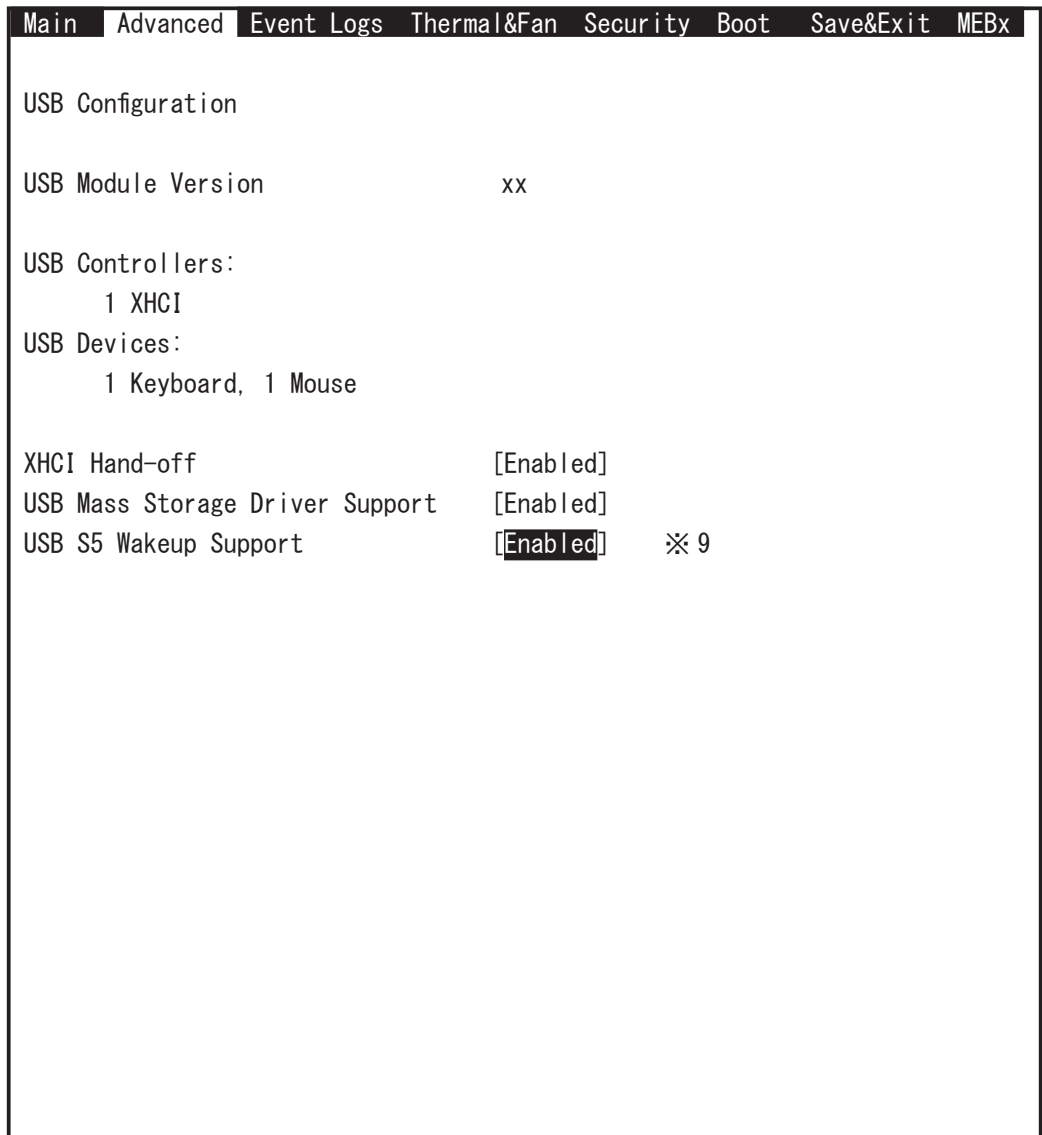
※ 8: SATAドライブが接続されていない場合は [Empty] と表示されます。



ご注意

(M.2 SSD RAID を除く) 「M.2 SSD」は SATA ポートに接続していないため、【SATA And RST Configuration】メニューには表示されません。

【Advanced > USB Configuration】メニューの設定

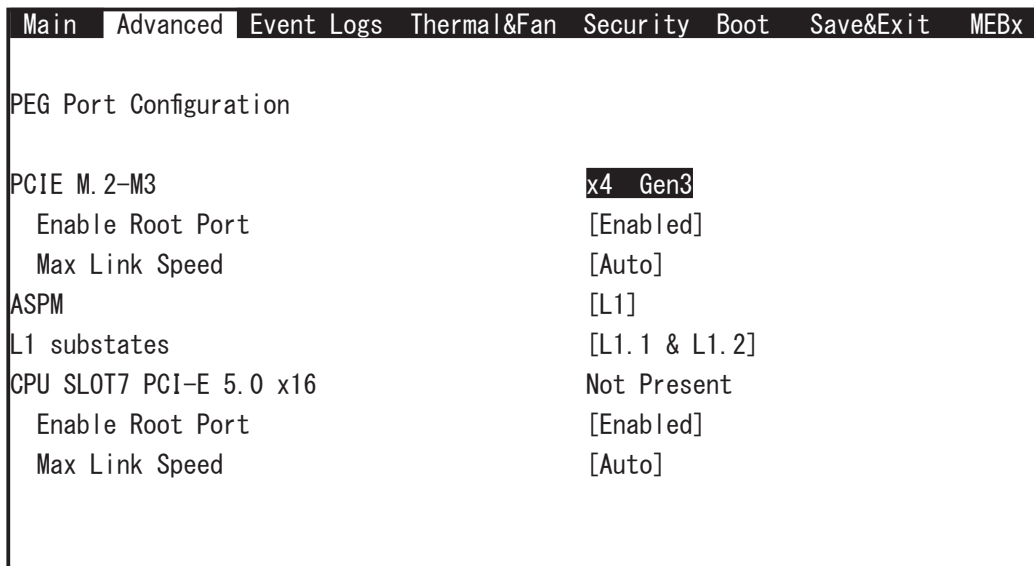


- ※ 9: Windows をシャットダウンした状態から、USB 2.0 ポートに接続した USB キーボードや USB マウスの操作で本製品の電源を ON (入) する機能について、有効化 / 無効化を設定可能です。

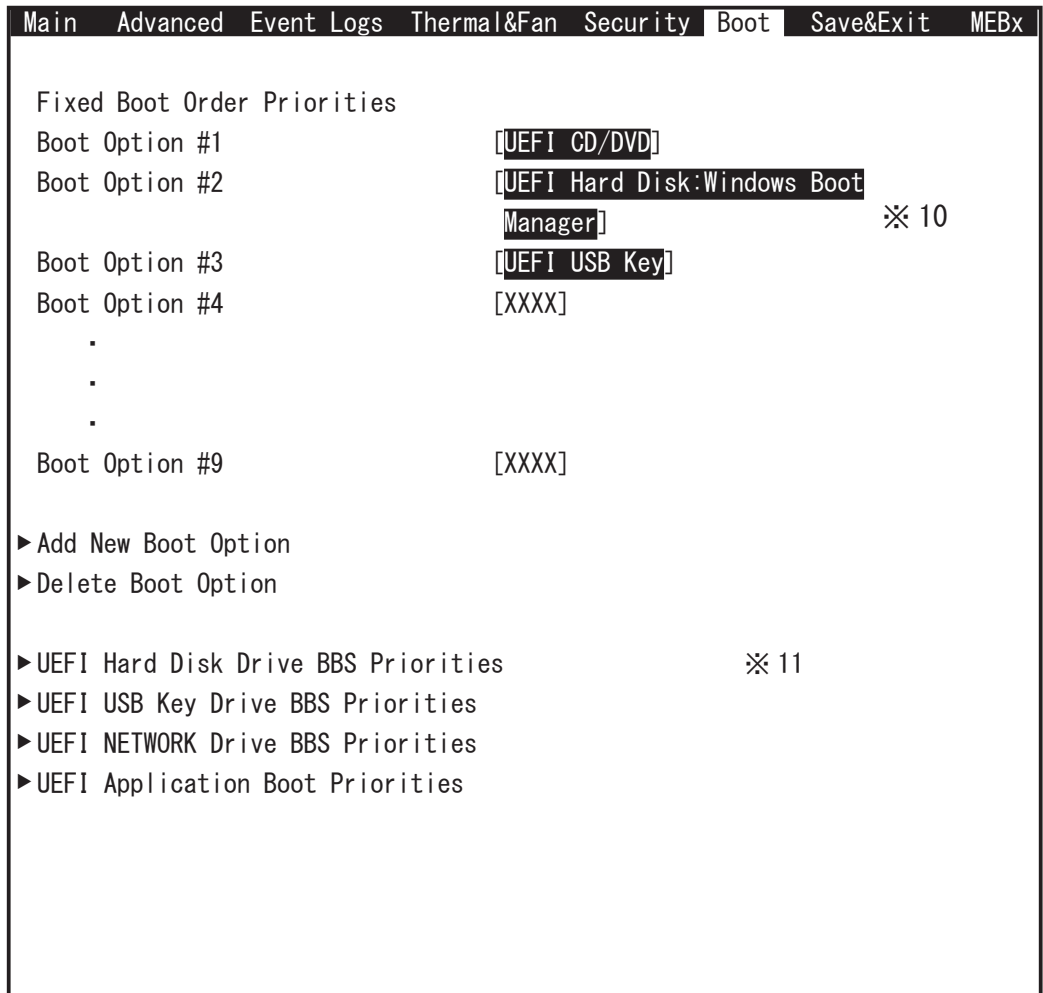
【Advanced > Chipset Configuration > System Agent (SA) Configuration
> PEG Port Configuration】メニュー

M.2 M-Key PCI Express 4.0 x4 スロットに M.2 SSD を装着している場合、
PCIe M.2-C の項目にて接続状態を確認できます。

接続されている場合 : x* Gen* (例 : x4 Gen3)
接続されていない場合 : Not Present



【Boot】メニューの設定



※ 10: 起動ドライブの優先順位を設定します。

※ 11: ※ 10 の選択肢に「UEFI Hard Disk: Windows Boot Manager」が表示されない場合には、本項を設定してから※ 10 を設定してください。
本項を選択し、「Windows Boot Manager」を選択します。



ご注意

- USB 接続の外付け CD/DVDドライブの場合は表示名の行頭に「USB」が、UEFI 対応 DISC がセットされている状態であれば行頭に「UEFI USB」が、付記されます。内蔵の光学ドライブの代わりにご使用いただけます。
 - カスタム仕様により、設定（優先順位）が異なります。
-

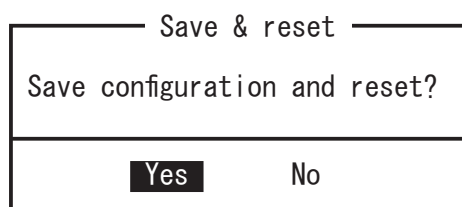
D) 設定変更を保存して終了します。

設定終了後、再び「Save & Exit」タブを選択します。

「Save Changes And Reset」を選択し、[Enter]キーを押します。

「Save configuration and reset?」と表示されますので「Yes」を選択して[Enter]キーを押します。

設定内容が保存され再起動します。



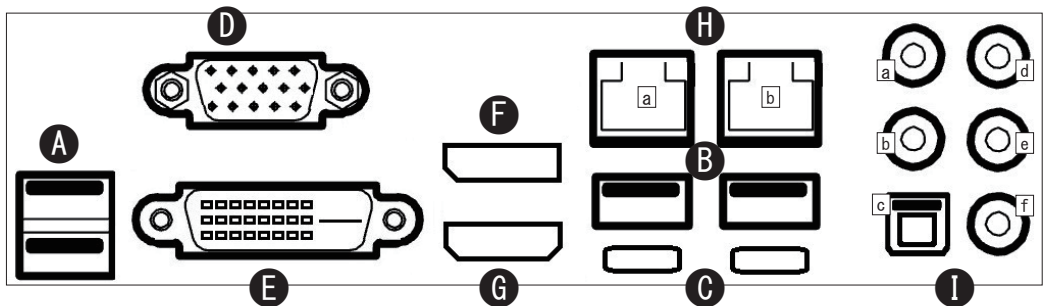
ご注意

「Discard Changes And Exit」や「Discard Changes」を選択実行すると、設定内容が保存されません。

ユーザーズマニュアル補足

S64 シリーズ

1. 製品背面側のコネクタ

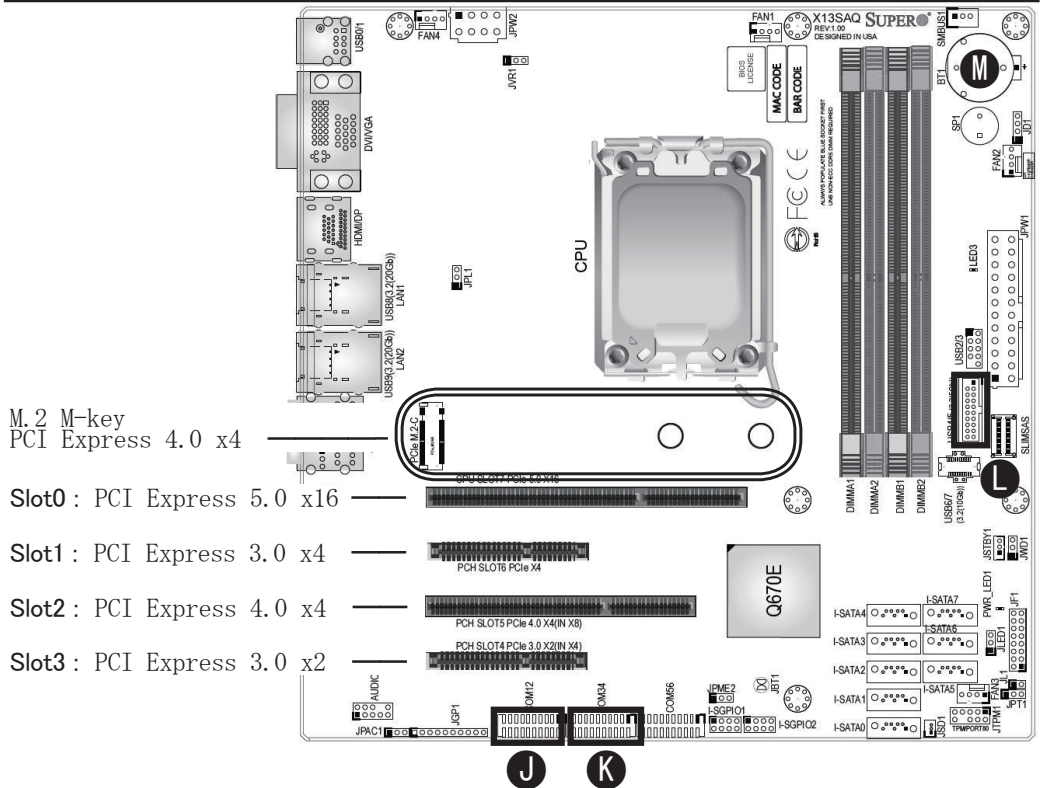


- A: USB 2.0 High-Speed (Type-A) 2 ポート
USB 2.0 を上限に、USB 機器を接続できます。
- B: USB 10Gbps (Type-A) 2 ポート
USB 10Gbps を上限に、USB 機器を接続できます。
- C: USB 20Gbps (Type-C) 2 ポート
USB 20Gbps を上限に、USB 機器を接続できます。 *1
- D: VGA ポート VGA モニターを接続できます。 *2
- E: DVI-D ポート DVI-D モニターを接続できます。 *2
- F: Displayport (1.4a) Displayport モニターを接続できます。 *2
- G: HDMI (2.0b) ポート HDMI モニターを接続できます。 *2
- H: LAN (100/1000/2500 Mbit/sec) 2 ポート
 • a : Intel(R) I225-LM • b : Intel(R) I225-LM
- I: オーディオ機器を接続できます。
 • a : Center/LFE Out • d : Line In
 • b : Surround Out • e : Line Out
 • c : SPDIF Out • f : Mic In

*1: USB PD (USB パワーデリバリー)、Alternate Mode (オルタネートモード) には対応しません。

*2: 同時使用は上限 4 ポートまで可能です。

3. 内部のシリアル COM ポートコネクタと拡張スロット



M.2 M-key
PCI Express 4.0 x4

Slot0 : PCI Express 5.0 x16

Slot1 : PCI Express 3.0 x4

Slot2 : PCI Express 4.0 x4

Slot3 : PCI Express 3.0 x2

J : Serial port (COM1/COM2)

K : Serial port (COM3/COM4)

シリアル (COM) ポート (RS-232C) ケーブルを接続できます。

いずれも、カスタム仕様によっては使用済みです。

L : USB 5Gbps

USB 5Gbps ポートケーブルを接続できます。

いずれも、カスタム仕様によっては使用済みです。

M : 電池ホルダー リチウム電池が装着済みです。

コイン型やボタン型と称されることもある一次電池です。

リチウムイオン電池 (二次電池) ではなく、充電することはできません。



ご注意

- M.2 M-key PCI Express 4.0 x4 スロットは、M.2 PCIe(NVMe) 対応 SSD のみ使用できます。搭載可能サイズは 2280/22110 です。
- (M.2 SSD RAID を除く) M.2 SSD へリカバリする場合は光学ドライブを除く、全ての SATA 接続機器を外してください。
- J コネクタと K コネクタは、同じ形状、同じ機能です。
L コネクタと形状が似ていますので、接続間違いにご注意ください。
- 外部シリアル (COM) ポートケーブル (オプション) 搭載時には拡張スロットを使用します。使用スロット数は、カスタム仕様により異なります。

安全にお使いいただくために

1) メモリーモジュールの転送速度

1-1) 搭載 CPU や装着しているメモリーモジュールの構成によって、データ転送速度が変わる場合があります。

1-2) 本製品は、上位または下位のデータ転送速度に対応したメモリーモジュールを装着することができます。

DDR5-4800/4400 SDRAM DIMM (Unbuffered / Non-ECC / Non-registered)

2) LAN ポート

2-1) LAN ポートの順番

Windows の場合、2 つの LAN ポートが「イーサネット」、「イーサネット 2」のように表示されます。カスタム仕様により、LAN ポートの表示名が変わる場合があります。



2-2) Wake on LAN

Wake on LAN 機能を使用する場合、BIOS 設定は不要です。Windows にプリインストールされている「Intel PROSet Adapter Configuration Utility」(管理者権限で実行)で Wake on LAN を有効に設定します。加えて、Windows のシステム設定で高速スタートアップを無効に設定します。設定後、Windows を正しくシャットダウンすることで準備が整います。設定後に主電源 (AC 電源) を切断した場合は、Wake on LAN の機能が解除されます。解除後であっても、Windows を正しくシャットダウンすることで、再び準備が整います。

「Intel PROSet Adapter Configuration Utility」において、該当する LAN ポートが表示されなかったり、サポート外と表示される場合には、Wake on LAN 機能をご利用いただくことができません。これは「Intel PROSet Adapter Configuration Utility」の仕様であり、本製品の使用上の制限です。